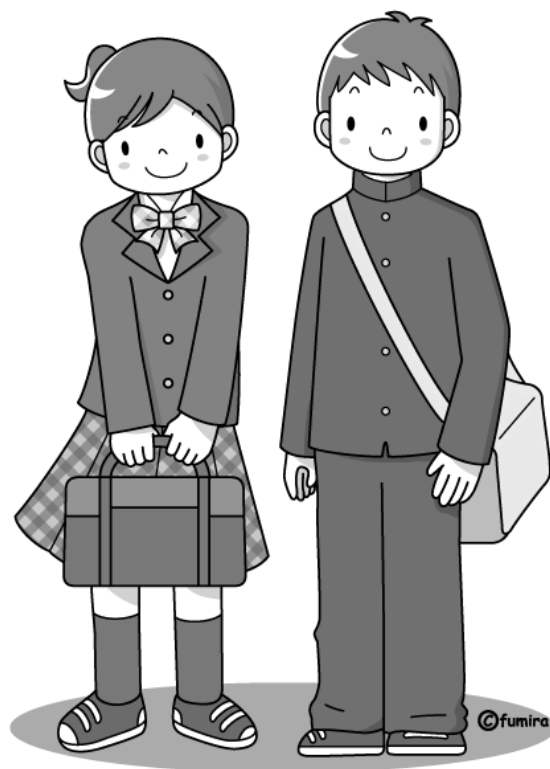


# 御所見中学校で学ぶ みなさんへ



2023（令和5）年4月  
藤沢市立御所見中学校

\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番　なまえ\_\_\_\_\_

- p.2 きまりについて
- p.3 服装・身だしなみのきまり
- p.4 ひと・こと・ものを大切に
- p.5-7 一日の生活
- p.7 一日の生活について注意すること
- p.8 持ち物のきまり、生活上のきまり
- p.9 心がけよう  
携帯電話・スマートフォンはルールを守って

## きまりについて

学校は、学ぶ場という「社会」であり、  
自分とは違う他の人と共に過ごす「社会」です。

もし、お互いにワガママや自己中？をぶつけ合って  
やりたいままをやり、やりたくないからやらず、  
言いたいままに言い、言いたくないから黙っている、  
という行動ばかりになってしまったら、  
社会に嫌な思いが増え、傷つくことが増え、  
それが広がって、自分にも返ってきてしまいます。

あなたも含めて、誰も  
“本当にやりたい大切なこと”が  
出来なくなってしまうのです。

だから「社会」には必ず、  
誰もが気持ちよく生活できるように  
きまり、という

してはいけないこと と、

しなければいけないこと があります。

もちろん、きまりは変わることがあり、正しい方法で変えることも出来ます。

そして  
誰もが気持ちよく生活が送れるように  
一番大切なことは

きまりは **守らなければならない**  
ということです。

## 服装・身だしなみのきまり

### 中学生らしく、さわやかに

- \* 服装や身だしなみには、それを目にする他人を思いやる気持ちが欠かせません。
- \* 極端な服装や身だしなみは、他人に不快な思いをさせることも多いもの。
- \* 時と場合、場面にふさわしい身だしなみができるようになるための、きまりです。

### <頭 髪>

- \* 学習の場にふさわしい、自然な髪型にしましょう。
- \* 整髪料や派手な飾りが必要な髪形は学校にふさわしくありません。
- \* 髪型（を楽しむこと・見せること）を目的として学校生活を送ることがないようにしましょう。
- \* 染色・脱色が禁止なのは言うまでもありません。

### <服 装>

- \* 標準服または体操着（ジャージ）を正しく着ること。  
式などの正式な場では、ネクタイ・リボンを着用し、ブレザー（冬）のボタンをしめます。  
その他の場では、気候に合わせて工夫をしますが、次のことに気をつけてください。
  - ・靴下  
くるぶしソックスは正式な場にはふさわしくありません。  
ルーズソックスは禁止です。  
色は黒・紺・白・茶・グレーとする。（ワンポイント、ラインは可）
  - ・セーター・カーディガン  
防寒のための着用を認めます。だから、必ずブレザーの下に着用すること。  
教室以外の場所で、セーター・カーディガンだけの姿は禁止です。  
教室から出るときは、ブレザーを着用しましょう。
- \* コート  
スクールコートやダッフルコート、Pコート、**ジャケット・ウインドブレーカー**（部活動のものも可）の着用を認めます。室内では脱ぎましょう。
- \* 手袋、マフラー  
実用的なものを使用しましょう。室内ではずしましょう。
- \* **セーター・コート類は、黒・紺・白・茶・グレーが望ましい色**です。いずれも柄物でなく、ワンポイント程度の華美でないものにしましょう。
- \* 寒い時期ジャージの中にトレーナーの着用可。**色はセーター類と同じ**。
- \* 登校靴は、運動に適したものにしましょう。
- \* 開襟シャツは禁止です。
- \* **安全のため、靴のかかとを踏みつづけてはいけません。**

## 人・こと・ものを大切に

### <教室の使い方>

- \* 机イスが乱雑にならないように気をつける。授業の前にはきちんと前後左右をそろえます。
- \* ロッカーは自分のロッカーだけを使うこと。いつも整理整頓しておきます。
- \* ロッカーの上に荷物などを置いてはいけません。
- \* 大きなバッグなどの荷物はロッカーまたはイスの下に入れます。
- \* 落書きや彫り込みなどは、当然してはいけません。
- \* 黒板は授業や学活、委員会活動などで使うものです。使用後はきれいな状態に戻しましょう。

### <昇降口の使い方>

- \* スノコの上では靴は履きません。外靴を脱いでスノコに上がり、上履きを取って「緑色の床」部分で履きます。(外に出る時はこの逆)
- \* 自分の出席番号の位置以外のところに靴を入れてはいけません。

### <保健室の使い方>

具合が悪く、活動が続けられそうにない時、早めに申し出てください。

- ① 授業の担当の先生・職員室の先生のところに行きます。
- ② 先生に自分の状態を伝え、気をつけて養護の先生のところ(保健室)へ行きます。
- ③ 必要に応じて、保護者の方に連絡を取ることがあります。

### <職員室の入り方>

- ① 荷物を降ろし、コート・マフラー・手袋などは脱ぎます。
- ② 軽くノックをします。
- ③ ドアを開け、名乗ります。(朝は元気よく、おはようございます！)  
「失礼します。〇年〇組の〇〇です。」  
「失礼します。□□部の〇〇です。」
- ④ 用件を告げます。  
「□□先生はいらっしゃいますか？」  
「〇〇先生、お願いします。」  
「△△のカギを取りに来ました。」「返しにきました。」など

### 用が済んだら

- ⑤ 入り口で先生方の方を向き、あいさつをして、ドアをそっと閉めます。  
「失礼しました。」「ありがとうございました。」など
- \* 職員室への入室は、入り口までです。それ以上奥へは許可なく入れません。

### <緊急なことが起こった時>

基本的には、まず先生に知らせます。そして、先生の指示に従います。

- \* 学校内のもの・設備などが壊れた、ケガをした人がいる、などの場合は、すぐに先生に知らせること。
- \* 故障や汚れ、破損など、普通ではない状態に気がいたら、その時にすぐに先生に知らせること。(自分がしてしまったとき、自分から報告できると素敵です。)

### その他の注意事項

- \* 自分の持ち物には必ず名前を書いておく。上履きは甲の部分に記名する。
- \* 教室その他で配られる、連絡のプリントは必ず保護者の方に渡し、見ていただくこと。(書類をまとめるファイルなどを用意しましょう。)
- \* 提出するものは、必ず期限を守ること。
- \* 学校からは、授業連絡を含めて様々な連絡事項があります。メモを取る習慣をつけ、間違いの無いようにしましょう。

## 一日の生活

### 8:25 職員打合せ

先生たちが打合せをしています。職員室への来室は禁止です。  
職員室への用事はこの時間の前に済ませましょう。

### 8:30 登校(予鈴)

この時間までに登校し、教室に入ります。  
自分の席に着き、一日のはじまりに備えます。

### 8:35 本鈴(着席していないと遅刻になります。)

### ~8:45 健康チェック、朝のホームルーム(短学活)

静かな教室で、落ち着いて過ごします。  
課題に取り組んだり、本を読んだりします。

始まりはあいさつから。「おはようございます」と元気よく。  
出席・欠席の確認のほか、担任の先生からいろいろなお話や連絡・注意  
があります。きちんと聞きましょう。

### 8:45 授業の準備

ホームルームが終わったらすぐ、1時間目の授業の準備をします。

### 8:55 授業

- ～12:45 1時間目から4時間目まで。  
あいさつで始まり、あいさつで終わります。  
先生の話や指示をよく聞き、集中して学習しましょう。

中学校では「教科担任制」といって、9教科をそれぞれ、違う先生に教えていただきます。教科の授業に加え、道徳・学活（学級活動）総合的な学習の時間があります。

- 12:45 昼食（お弁当）の準備  
手を洗い、昼食の準備をします。

- 12:50 昼食（お弁当）の時間  
～1:05 全員でそろって食べます。日程の関係で、15分間という短い時間です。  
食べ終わらなければ、昼休みにかかってもかまいません。  
「ごちそうさま」をするまでは席を立ってはいけません。

- 1:05 昼休み  
～1:25 できるだけ外に出て遊び、身体を動かしましょう。ボールの貸し出しも行なっています。

- 1:25 予鈴のチャイム  
もうすぐ午後の授業が始まる、という意味のチャイムです。  
5時間目の授業が受けられる準備をします。

- 1:30～ 午後の授業  
気持ちを切り替えて、学習に集中します。  
月・5校時まで、火・水・木・金は6校時までです。

#### 授業が終わったら

##### 掃除の時間

◎月は全員清掃

班ごとに、持ち場を全員で責任を持ってキレイにします。

○火・水・木・金は当番清掃

担当が教室と廊下をキレイにします。

##### 帰りのホームルーム（短学活）

一日の反省、次の日の授業の連絡、係や先生からの連絡やお話があります。

必要があればメモを取りましょう。

## 放課後

何もなければ部活動の時間です。一生懸命に活動に取り組みましょう。特別下校時刻を守りましょう。用事のない人は早く下校しましょう。日によって、専門委員会の会議や行事の準備などの仕事があります。

## 一日の生活について、注意すること

### 登校

- \* 自転車通学は許可制です。(条件があり、希望すれば使えるものではありません)
- \* 登校時に昼食を買うことは認められていますが、下校時に買うことは禁止です。
- \* 服装、頭髪、カバンなどきまりに従って身なりを整え、登校しましょう。
- \* 交通に気をつけること。友だち同士、道いっばいに広がって歩いたり、騒いでしまったり迷惑になることの無いように気をつけること。
- \* 自転車通学者は特に交通法規を守り、安全に注意すること。

### 学校についたら

- \* カバンの中の荷物などを整理し、学校生活が円滑にスタートできるよう準備しましょう。

### 授業

- \* チャイムで授業が始められるように準備を終えて着席しています。
- \* 音楽室、美術室などに移動して、授業を受ける時は特に気をつけること。
- \* 先生がくるまで静かに自習しています。
- \* 私語をつつしみ、集中して真剣に取り組みます。〇〇ができた、〇〇がわかった、と言えるように頑張りましょう。

### 10分休みの時間

- \* 次の授業の準備をするための時間です。トイレを早めに済ませておきましょう。

### 昼食

- \* 係りの人は給食を印刷室前に受け取りに行きます。
- \* 全員で「いただきます」をして食べ始めます。
- \* チャイムが鳴るまで立ち歩いてはいけません。全員でそろって「ごちそうさまでした」をして、昼食の時間を終了します。

### 昼休み

- \* 翌日の授業連絡を含めた、連絡内容を連絡係が連絡ボードに記入し、昼休みのうちに完成させます。

### 掃除の時間

- \* 仕事を押し付けあうことなく、全員で責任を持って、取り組みましょう。
- \* 一生懸命にはたらくことは気持ちの良いことです。校舎も気持ちよくキレイになります。明日からの学習にも身が入ります。



- \* 時間が来たらすみやかに教室に入り、席についていること。
- \* 自分の持ち場が終わったら、教室に戻り、教室掃除が終わっていない場合は、手伝います。

## 持ち物のきまり

学校の活動に必要なもの（不要物）は持ってこない。

授業、部活動、生徒会や委員会活動、行事に必要なものは忘れ物のないように。それ以外のものは不要物なのだから、学校には持ち込まない。

はじめをつけること。

- \* 不要物とは：例えば…
  - ・携帯電話、お菓子、おもちゃ、ゲーム類、携帯音楽プレーヤー
  - ・必要のないお金 ・腕時計 ・カメラなどの貴重品
  - ・ブレスレッド、指輪、ネックレスなどの装飾品
  - ・整髪料、ワックス、香水などの化粧品
  - ・学校の内外を問わず、中学生が日常使うべきでないもの
- **必要なお金を持ってきた場合は、登校後すぐに先生に預けること。**  
（貴重品は封筒に入れて、表に名前を書いてから預けるようにしましょう。）
- 水筒を持ってきてよい。水筒持参の場合、中身は甘くない茶（〇〇茶と茶がつくもの）、スポーツドリンクとします。

## 生活上のきまり

- 廊下や階段はもちろんのこと、校舎内では走らない。
- 自分のクラス以外の教室には入らない。
- 移動教室の授業の時以外、他学年のフロアには行かない。
- 登校後は学校から許可なく外に出ない。
- 授業の道具は毎日持ち帰る。（置いていってよい物は別に指示します）
- 靴の区別をきちんとつける。（上履き、外履き、体育館履き）
- 休日（長期休業を含む）やいったん下校した後で再び登校するとき（“再登校”と呼んでいます）は、標準服または体操着（ジャージ）を着用します。また、部活で認められた服装（ジャージ、ユニフォーム、練習着）での登校も認められています。  
（許可生徒以外の自転車禁止）

## 心がけよう

充実した生活を送り、自分が成長するために。

- \* 大きな声で自分からあいさつ・返事をしよう。
  - 一人のときもみんなでいる時も。
  - 同じ友だちや先生に何度あいさつしたっていいのです。
  - あいさつは相手を認め、自分を認めてもらうことでもあります。
- \* 時間を守ろう
  - 学校はみんなの行動で成り立つもの。一人が遅れたらみんなの動きが止まります。
  - 早め、早めの行動、先を読んだ行動を心がけましょう。
- \* 授業を大切にしよう
  - みなさんの本業は学習 = 授業です。生活の中心も学習 = 授業です。
  - ○○がわかった、○○ができるようになった。をたくさん積み重ね、たくさん吸収するチャンスです。
- \* 人の話をきちんと聞こう。自分が伝えたいことはきちんと話そう。
  - 最後まで目と耳と心で聞く。正しい言葉で最後まで話す。
  - 人の話を聞けなければ、得るものは無くなります。他人の話を聞けなければ自分の話も聞いてもらえません。  
つまり伝えたいことが伝わりません。

## 携帯電話・スマートフォンは、ルールを守って！

SNS（LINE やインスタグラム、フェイスブック、ツイッターなど）で、人の悪口や傷つくようなことを書き込んでトラブルが起きないように、正しい使い方を守りましょう。また、個人名や個人が特定できる写真を載せることもやめましょう。今までも多くのトラブルが起っています。傷つき、傷つけ合う関係は、学校生活をつまらないものにしてしまいます。

\* 携帯電話・スマートフォンについては保護者から要望があった特別な場合のみ登校時に担任が預かり帰る際に返却する。無断での持ち込みについては保護者に連絡して保護者に返す。特別な場合以外は、不要物扱いとなるので持ち込まない。